

三木南地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和7年9月12日（金）
午後7時00分～午後7時50分
- 2 場 所 三木南交流センター 研修室
- 3 参加者 三木南地区 8人
市 19人（市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、危機管理課長、市民協働課長、環境課長、交通政策課長）
オブザーバー 2人
傍聴者 1人

4 内 容

- (1) 地区からの意見・提言及び市からの回答

別紙のとおり

- (2) 意見交換

ア 外国人居住者の地域参加促進と支援

【三木南地区】

ローレルハイツ北神戸地区には、41世帯、112名、国数にすると8カ国の外国人住民が社宅に住んでいる。

外国人住民の多い当地区において課題となるのが、災害時の対応である。解決策として、外国人住民の雇用企業を通し、自治会への加入促進や防災訓練への参加促進等に取り組んだ。結果、半数程度だった外国人住民の自治会加入率は90%を超え、防災訓練にも非常に多くの外国人住民の方に参加いただくことができた。

外国人住民も地域に暮らす住民である。自治会としても、防災訓練などの地域活動に参加いただくための取り組みを進めている。市からも何かよい意見やアドバイスがあればお聞かせ願いたい。

【総合政策部長】

地域から防災に関するご意見等を頂くことが増えており、市民の防災意識の高まりを実感している。現在、防災パンフ

レットを、日本語を含め 10 カ国語で対応しており、転入の届出の際に渡している。また、インターネットでも多言語で説明しているサイトが多くあるため、そういったものを紹介していただくのもよいと考える。

さらに、現在、自治会やふれあいサロン等からの依頼があれば防災に関する出前講座を開催している。事業所からの依頼が前提となるが、この出前講座を活用し、事業所において外国人従業員向けに講習会を開催するなどの方法もあると考えている。

【三木南地区】

10 月から開始するデマンド交通について、外国人住民にもデマンド交通の仕組みを伝えていかなければならないと思っているが、外国人住民を対象にした講座の実施は考えているか。

【交通政策課長】

現在実施している出前講座は、デマンド交通開始後も引き続き、自治会をはじめ様々な団体を対象に開催したいと考えている。今後、出前講座を開催するなかで、ご指摘の外国人住民を対象にした講座についても、開催方法含め、自治会等と連携し、対応させていただきたい。

【三木南地区】

デマンド交通を利用し、三木南地区から市役所に行くには乗り継ぎが必要となる。直接市役所に行けるようにしていただきたい。

【市長】

今後、バス事業者も含め検討させていただく。

【三木南地区】

掲示板に掲示しているデマンド交通のチラシなども日本語表記であるため、外国人住民はなかなか足を止めて見ない。何か良い方策はあるか。

【市民協働課長】

現在、三木市全体で 50 カ国の外国人住民がいるなかで、全ての言語に対応することはなかなか難しい。そこで、簡単な日本語を使った「やさしい日本語」での情報発信を推奨している。デマンド交通のチラシ等についても、まずは「やさし

い日本語」に置き換えるなどして配布させていただくことも検討したい。

また、秘書広報課が窓口となり、自治会単位や区長協議会単位で実施している「出前トーク」では、「やさしい日本語」も含めた多文化共生の考え方についてお話させていただくので、ぜひそちらもご利用頂きたい。